

3年前期

精神保健学実習

(2単位：必修)

時間：8:40-18:10

場所：医学部3号館N101

責任教員：川上憲人、島津明人、宮本有紀、森 俊夫

連絡先：教室受付(医3号館N304、内23364)

《目的及び内容》

実習目的及び内容：地域の精神保健福祉活動の見学、および希望により産業精神保健、学校精神保健の現場の見学を行い、わが国の精神保健の現状と課題を理解し、その解決策を自ら考えることのできる能力を身につけることを目的とする。

《精神保健学実習の進め方》

1. 精神保健学実習の詳細について4月5日(木)1限の精神疾病論第1回オリエンテーションにて説明するので、必ず出席すること。
2. 1グループ2～4名で行う。グループ分けは、学生の希望をききながら5月中(精神疾病論最終日)に決定する。
3. 課題発表会では、各実習コースに関する施設やサービス、関連する制度について学生が調べ、グループごとに発表する。
4. 地域精神福祉施設実習では、原則2名が1組となり、精神障害の経験者にインタビューして、これまでの経過や現状、今後の希望などについて聞き取り、具体的事例を通じて精神保健の現状を理解することを目的とする。またその施設の活動を見学する。
5. 地域・産業・学校選択実習では、希望により地域精神福祉施設、産業精神保健関連サービス、学校に分かれて見学あるいは体験型実習を行う。
6. 成果発表会では、地域精神保健福祉施設実習でインタビューした内容を含めて、精神保健の現状と課題、よりよい精神保健に向けての提言などをグループごとに発表する。
7. 希望により別途設定する「長期実習」を受講し、精神保健学実習の単位に代えることができる。ただし成果発表会では発表することが必要。
8. 看護学コースの学生は必ず履修すること。
9. 成績評価：出席状況と実習態度、レポートを総合的に評価する。

《注意》

精神疾病論と精神保健学の試験に合格することが、精神保健学実習の履修条件になりますので、注意してください。

《精神保健学実習日程表》

日程		授業題目	内容	担当
4月11日(木)	1限	授業オリエンテーション	実習内容と実習先の説明を行う (簡単な資料配付)	教員
5月30日(木)	2限	精神保健学実習説明会(1)	実習グループの決定 長期実習希望者の決定 同行する院生の紹介 課題1(実習先、制度についての調査)を指示	教員、院生
7月19日(金)	2限	精神保健学実習説明会(2)	実習内容の説明、基本的注意事項 (詳細な資料配付) 当事者からの話の聴き方 グループごとの打ち合わせ	教員、院生
		(夏期休業)	(グループごとに準備)	
9月2日(月)	1, 2限	課題発表会 精神保健学実習オリエンテーション	グループごとに課題1を報告(各10分) <ul style="list-style-type: none"> 地域、産業、学校精神保健の制度と現状 実習先機関・施設の特徴 実習準備状況 グループ別オリエンテーション	教員、院生
	3, 4, 5限	地域精神保健福祉関係者による講義	講義(小松、近藤、広田氏)	〃
9月3日(火)	1日	地域精神福祉施設実習	グループ別実習	〃
9月4日(水)	1日	地域・産業・学校選択実習	〃	〃
9月5日(木)	1日	精神科医療機関実習	〃	〃
9月6日(金)	1, 2限	(発表準備)	〃	〃
	3, 4, 5限	実習成果発表会	グループごとに課題2(実習成果)を報告(各15分) <ul style="list-style-type: none"> ケーススタディ 地域、産業あるいは学校精神保健の課題 今後の提言 	〃
	終了後	実習打ち上げ会	自由参加です!	有志

○精神保健学実習の課題発表・実習発表について

1. 課題1（課題発表）について

1) 概要:実習オリエンテーション時の発表会では、グループごとに、実習先に関する制度、現状、施設やサービス他について事前に調べた内容をグループごとに10分間発表する。

2) 情報の集め方:インターネット、院生から聞く、電話する、図書館を利用するなど。

3) 発表内容の例

- 実習先機関の場所、行き方などについて確認する。
- 実習先機関はどんな施設か（施設の種類、法律や制度、サービス内容）について一般的に調べる。
- 実習先機関の特徴は何か（設置はいつ、どんな種類の施設、施設の特徴は、利用者は何人くらい、どんな人が多いなど）についてわかる範囲で。
- その他、実習のために準備したこと等。

4) 発表方法

以下のいずれか、あるいはその組み合わせによって発表すること。

- 資料なしで、口頭で発表する。
- パワーポイントをつくって発表する（PCとプロジェクターは準備します。データはUSBで当日持参してください）。
- 配付資料をつくって発表する（※）。

※配付資料のコピーは、医学部医学部3号館3F N304号室で、秘書（熊耳）に「健康総合科学科の3年生で、授業資料をコピーしたいのですが」と伝えてください。精神保健学実習で使用する資料に限ります。他の授業科目の資料のコピーや、私用のコピーは行わないでください。

2. 課題2（実習成果発表）について

1) 概要:精神保健学実習発表会では、当事者（利用者）の経験、精神保健の課題、よりよい精神保健に向けての提言などをまとめ、グループごとに15分発表する。

2) 情報の集め方:当事者（利用者）の経験をまとめる、グループで議論する、院生と相談する、図書館を利用し関連する本などを調べるなど。地域、産業、学校精神保健、あるいは精神科医療のどれかに1つに注目してまとめてもよいし、相互に関連づけてまとめてもよい。

3) 発表内容の例

- 現状と問題点:当事者がこれまで感じた困難や問題点は何か。実習先機関のスタッフはどんな問題点を感じているか。
- 現状の分析:自分たちはこの問題をどう考えたか。解決すべき問題点は何か。
- 解決策や提言:現在の困難や問題点を解決するにはどうしたらいいのだろうか。制度やサービスをどう変えたらいいだろうか。

4) 発表方法

課題1に同じ。できるだけパワーポイントを作成し、配布資料も作成してください。